

各緊急避難候補地の特徴の比較

候補箇所	第2山小屋跡	イタチキ川出合い	尾根広場(仮称)	中間広場	第1山小屋跡
面積	約55 m ²	約40.5 m ²	約19 m ²	約11.5 m ²	約22 m ²
設置可能テント数(1人用)	4~5	4	1~2	1	2~3
避難箇所としての特色	<ul style="list-style-type: none"> ・面積が広く待機可能人数が多い ・カンビレー口にも最も近い ・イタチキ川の救助ポイントからも近く、搜索の観点からも重要。 	<ul style="list-style-type: none"> ・面積が広く待機可能人数が多い ・イタチキ川のヘリコプター救助ポイントに隣接し、待機場所となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断道のほぼ中央に位置し、隣接する広場から離れているため、位置的に重要 ・尾根上にあり、冠水の恐れはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘリコプター救助ポイントとなっており、待機場所となる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大富口に最も近く、中間広場の救助ポイントからも近い ため、搜索の観点からも重要。
避難箇所としての留意点	—	<ul style="list-style-type: none"> ・増水時冠水の恐れがあり 	<ul style="list-style-type: none"> ・横断道のほぼ中央に位置するため、搜索に時間を要する。 ・周辺に地すべり危険区域が存在。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増水時冠水の恐れあり ・面積が狭く、野営できる人数は限られる。 	—
増水時の判断	<ul style="list-style-type: none"> ・大雨時はイタチキ川を渡ることができない。 ・第2山小屋跡に隣接する支流も渡れないことがあるのに加え、第2山小屋も冠水することがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増水時に冠水する。 ・悪天候時には、このエリアに進入しない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大富口からの登山の場合、悪天候時には、これより先には移動せず、引き返すか待機する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・増水時には冠水するため、尾根広場か、第1山小屋跡で待機することが望ましい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大富口からの登山の場合、第1山小屋跡までにも、沢を複数渡るため、増水時には注意が必要である。
候補地としての適否	○	×	×	×	○